事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和08年06月15日(月)

事務事業	下水道企業会計管理事務	担当課	企業経営課	担当係	企業経営係	管理番号	41111

総合計画				事業区分	■ 自治事務　□ 法定受託事務
	大項目	5	快適で利便性の高いまち	根拠法令個別計画等	地方公営企業法
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり		
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化		
	主要プロジェクト				

事業概要	下水道事業の健全運営のため、下水道事業会計における事務全般について執行管理を行うものである。
目的 ※何のために	持続可能な下水道事業運営を行うため。
対象 ※誰・何を対象に	下水道事業会計に係る事務全般
手段 ※どのように	予算編成及び決算調製等の機会をとらえて、経営戦略の進捗管理及び総合的な見直しを行う。
成果 ※何を求めるか	下水道事業運営の健全化
執行体制	■職員 □一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア　□NPO等　□その他(　　)

事務事業を構成する予算事業

区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	8	土木費	6	下水道費	1	下水道整備費	下水道事業会計繰出金	663,495,000

本事業の主な業務

・予算編成事務	・
・決算調製事務	・
・出納事務	・
・資産管理事務	・
・起債事務	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

※令和７年度は決算見込み額です。

単位：円

区分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画								
事業費	予算（現額）		768,051,000	670,636,000	686,947,000	663,495,000	808,082,000	
	決算額		768,051,000	670,636,000	686,947,000	663,495,000	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	768,051,000	670,636,000	686,947,000	663,495,000	808,082,000	
人件費	従事職員数（人）		2.83	3.13	2.53	2.53	2.53	
	人件費相当試算※		22,270,847	25,071,817	20,802,270	21,447,048	22,285,477	
総事業費試算			790,321,847	695,707,817	707,749,270	684,942,048	830,367,477	

※　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

３．評価指標

区分	指標名		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標１	経営戦略進捗管理実施回数	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		実績値		2.00	2.00	2.00	2.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		収支計画の計画値と予算値（予算編成時）及び決算値（決算調製時）を比較して乖離状況を分析する						
	実績値の算出式								
成果指標１	経営戦略の見直しを実施した割合	目標値	%	－	－	－	－	－	－
		実績値		－	－	－	－		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		総合的見直しの年度が未定のため目標値設定はないが、定期的に総合的見直しを実施する						
	実績値の算出式								
成果指標２	当年度純利益の計上	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		当年度純利益を計上した場合は100であり、当年度純損失を計上した場合は0として表記						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

４．観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している　B:おおむね達成している　C:達成していない）

（１）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	現行の経営戦略（収支計画）については決算調製時（６月）及び予算編成時（１２月）の年２回において、計画値と実績値の乖離状況を分析（モニタリング）している。また、次期改定に向けて、事業の見通しや近時の社会経済情勢動向の把握に努め、収支計画の見直しに向けたベースを作成している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	定期的なモニタリングを活かして令和８年度当初予算を編成することができた。また、令和７年度決算（収益的収支）については、収入が３，３１２，５５９，２２９円であり、支出が３，２５８，３７０，５５９円であったため、５４，１８８，６７０円の純利益を計上することができた。
		評価者	企業経営係　小林　史尚

（２）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である　B:高める余地あり　C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	電子起案（供覧）や庁内チャットなどICT技術の活用により業務効率化を行った。特にペーパーレス化を促進し、紙資源の節約及び経費を削減することができた（令和４年度比で紙資源は３７％減、経費は４０％減）。 また、八潮市の道路陥没事故を受けた全国特別重点調査を実施するため、予算措置を速やかに行い、円滑に事業執行することができた。
		評価者	企業経営係　小林　史尚